

SB ディレクター

【禁忌・禁止】

ニッケル及びクロムに対し発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある医療関係者及び患者には使用しないこと。

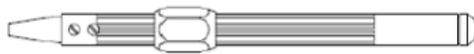
*【形状・構造及び原理等】

本品の形状、構造は次のとおりである。

1. タッカー



2. リゲチャー ワイヤー ツイスター



3. スケーラー/プッシャー



*4. ハーモニー オープン/クローズ インストルメント



原材料: 本品はステンレススチール製である。

【使用目的又は効果】

アーチワイヤ又はブラケットウイングの下に結さつ糸を入れ込んで誘導するか、アーチワイヤ又は補助用具を所定の位置に押し込むために用いる。

*【使用方法等】

1. 使用前に滅菌済みであることを確認する。
2. 先端部で、専用リゲチャーワイヤーをくわえ、矯正用ワイヤー、ブラケットなどに引っ掛け、ねじって結紮する。
3. ハーモニー オープン/クローズ インストルメントは以下の方法により使用する。

<アンテリオクリップのオープン>

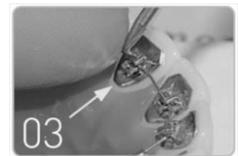
(1)ハーモニー オープン/クローズ インストルメントがクラウンの長軸(歯根)と平行になるように配置し、インストルメント先端部を軽くしっかりと保持します。



(2)安定した作業のため、インストルメントの前歯用 90° の先端部をクリップの穴に挿入し、反対側の手の人差し指を先端部に添えます。



(3)人差し指の先をインストルメントの先端部に押し付け、クリップが開くまで咬合面の方に押します。インストルメントを保持している手は引っ張ってクリップを開くのではなく、インストルメントがクラウンの長軸と平行な直線上を移動するようにガイドします。



<アンテリオクリップのクローズ>

(1)インストルメントをクラウンの長軸と平行に保持したまま、インストルメントの前歯用 90° の先端部をクリップの穴に挿入します。反対側の手の人差し指をインストルメント先端部の上に置いて、インストルメントの先端部が患者を突き刺さないようにします。



(2)安定した作業のため、インストルメントの前歯用 90° の先端部を使用して、クリップが閉じるまで口蓋の方に静かに押します。クリップを閉じるときには、インストルメントは適切な角度に維持してください。反対側の手の人差し指は、クリップが閉じ、インストルメントの先端部がクリップの穴から抜かれるまで軟組織を保護します。



(3)クリップを閉じる間、アーチワイヤをスロット内に保持しておくため別にスケーラーなどが必要となります。
注意: クリップを閉じるときには、アーチワイヤがスロットに完全に装着されていることを確認してください。

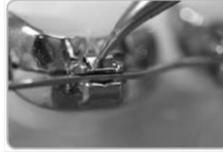
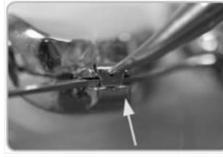


<ポステリオクリップのオープン>

(1)ハーモニー オープン/クローズ インstrumentの 145° 先端部をクリップの穴に挿入します。



(2)患者の前歯をてことして使用して、インstrumentを咬合面に向かってまっすぐに持ち上げます。軽く制御された力を加え、インstrumentの先端を回転させないでください。



<ポステリオクリップのクローズ>

(1)ブラケットパッドとクリップの間に、ハーモニー オープン/クローズ インstrumentの 145° の先端を挿入します。



(2)カチッと音がするまで、インstrumentの先端を口蓋（歯肉方向）に押し込みます。クリップが完全に閉じていることを確認してください。



注意：クリップは、インstrumentの先端をフェイシャルホールに挿入し、クリップを下（歯肉方向）に押し込むことによって閉じることができます。

(3)クリップを閉じる間、アーチワイヤをスロット内に保持しておくため別にスケーラーなどが必要となります。



注意：クリップを閉じようとしているときにワイヤに接触していると、過度の力によってクリップが破損することがあります。クリップが閉じた位置にならない場合は、ワイヤがスロットに完全に収まるようにワイヤを調整します。



【使用上の注意】

1. 貯蔵・保管にあたっては、洗浄をした後、腐食を防ぐために保管期間の長短にかかわらず必ず乾燥後、乾いた場所に保管すること。
2. 洗浄・滅菌済みの本品を貯蔵・保管するにあたっては、再汚染を防ぐために清潔な場所に保管すること。
3. 破損、欠け、脱落、曲がりの原因となるため、使用時に必要以上の力を加えないこと。

【保管方法及び有効期間等】

1. 貯蔵・保管にあたっては、洗浄をした後、腐食を防ぐために保管期間の長短にかかわらず必ず乾燥後、乾いた場所に保管すること。
2. 洗浄・滅菌済みの本品を貯蔵・保管するにあたっては、再汚染を防ぐために清潔な場所に保管すること。

【保守・点検に係わる事項】

1. 使用（滅菌）前に、汚れ、傷、曲がり等に異常がないか点検すること。
2. 使用後は、直ちに洗浄液に浸漬して血液、体液、組織等の付着物を除去し、感染防止のために洗浄・滅菌すること。
3. 汚染除去に用いる洗浄液は、pHが中性の洗剤もしくは溶液を、適正な濃度で使用すること。

【洗浄】

4. 洗浄前に、余分な油分は使い捨てのペーパータオルでふき取ること。
5. 洗浄は中性洗剤もしくは溶液を用いてブラシをかけ、本品の表面および接合部を十分行うこと。表面の状態を損ね、変色、錆、しみの原因となるおそれがあるため、インstrumentの表面には研磨材入りクリーナーや剛毛ブラシは使用しないこと。また、腐食性洗剤は使用しないこと。
6. 洗浄後は蒸留水で3分間すすぎ洗いし、腐食防止のために、直ちに乾燥すること。
7. 自動洗浄機を使用する場合は、医療器具等に適した洗浄機を使用すること。
8. 自動洗浄後、本品に損傷もしくは腐食がないか確認すること。

【滅菌】

9. 複数の本品等の金属製品を滅菌する場合には、損傷の原因になることもあるので、互いに接触しないように注意すること。
10. 132℃で15分のオートクレーブ滅菌を行うこと。温度は137℃を超えないようにすること。
11. 滅菌器メーカーの指示に従い滅菌器内に本品を配置すること。
12. オートクレーブ滅菌の場合、使用する水の硬度を確認すること。過度の硬水は表面に沈着物を生じる場合があります。

【その他】

13. 超音波洗浄器を使用する場合は、洗浄器メーカーや洗剤メーカーの使用説明書に従って使用すること。
14. 洗浄や消毒処理で長時間（夜通し・週末）放置しないこと。インstrument自体を損壊させるおそれがあります。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：

フォレストudent・ジャパン株式会社
東京都港区赤坂 2-10-12 生駒硝子ビル 2 階
電話：03-6277-6980

製造業者：

ソビテック インstrument社(国名:パキスタン)
Sobytek Instruments Co.